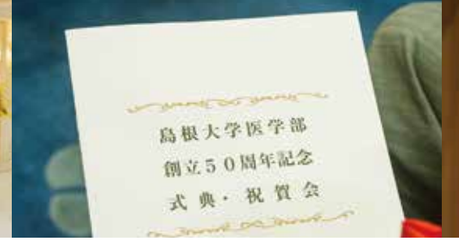
医学部が創立50周年を迎えました



ごあいさつ

島根大学医学部は昭和50年に島根医科大学として創立され、平成15年に島根大学と統合、平成16年には国立大学法人化を経て、令和7年に創立50周年を迎えました。この節目にあたり、地域の皆様からの長年にわたる温かいご支援に深く感謝申し上げます。また、創立以来、教育・研究・医療の各分野で尽力された教職員の皆様に敬意を表します。

附属病院は「地域医療と先進医療の調和」を理念に掲げ、島根県唯一の大学病院として地域医療の中核を担ってきました。医学科では医の心、知識、技能のバランスを重視した教育を行い、看護学科ではPBL形式（※1）のグループワークを通じてリーダーシップや課題解決力を育成しています。

これまでに医学科4346名、看護学科1466名の卒業生を輩出し、社会に貢献してきました。医師不足対策として、平成18年度から地域枠推薦入試を導入し、定着枠や緊急医師確保枠などを設けることで、県内で従事する医師の着実な増加につなげています。研究面では、腎臓老化制御を中心としたIKRA（※2）を展開し、高齢化率の高い島根において先進的な研究を推進。大学改革や産学連携を通じて地域産業振興にも寄与しています。令和5年度には「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」にも採択され、広域連携によるがん専門医療人の育成を進めています。

今後も「地域に根ざし、世界に発信する個性輝く大学」として、伝統と精神を継承しながら、教職員一同さらなる発展に向けて努力してまいります。50周年という節目にあたり、皆様のご支援に改めて感謝申し上げます。

国立大学法人
島根大学長
大谷 浩

※1　PBL形式…学習者自らが課題を見つけて解決していく中で、解決能力や実践能力を育成する教育手法

※2　島根大学医学部統合腎疾患制御研究・開発センター　詳細はこちら

50周年記念式典を開催

令和7年9月27日、医学部創立50周年記念式典が開催されました。石原俊治医学部長（式典当時）は、地域と世界をつなぐという理念のもと、教育・研究・診療の三本柱を着実に積み重ねてきた歩みを振り返り、今後も多様性と柔軟性を備えた人材育成に尽力する決意を表明しました。特に、1989年に実施された日本初の生体肝移植や、地域医療教育の先駆的な取り組みなど、地方大学からの先進医療発信の意義が強調されました。

来賓の皆さまからの祝辞では、地域医療への貢献や医師・看護師の育成に対する高い評価と感謝のお言葉をいただきました。文部科学省高等教育局医学教育課長 日比謙一郎様からは、文部科学省の統合医療人材養成事業への採択や総合診療医センターでの医師養成など、今後の地域医療の中核を担う人材育成に、島根県知事 丸山達也様からは、先進性と地域性の両立に向けた今後の尽力に対し期待が寄せられました。また、出雲市長 飯塚俊之様からは、島根大学医学部の存在が市民の安心と暮らしを支えていると感謝のお言葉をいただき、今後も医療・福祉分野での連携を深めていく意向が示されました。

さらに、島根県知事からは、医学部と附属病院に対し、長年の地域医療への貢献に対する感謝状が贈呈されました。

式典の後半には、日本医師会常務理事であり卒業生でもある長島公之様による特別講演、同じく卒業生で金沢医科大学教授の八田稔久様および、一般社団法人Ruby アソシエーション理事長のまつもとゆきひろ様による記念講演が行われました。島根大学医学部の50年の歩みは、地域とともに歩み、未来を切り拓く力強い礎となっており、今後のさらなる発展が期待されます。

島根大学医学部 創立50周年記念募金のご案内

これまで地域医療の発展に貢献してきた医学部は、次の50年に向けて教育環境の充実を図るため、新教育棟の建設を計画しています。新棟には、実習室やグループ討論室などを備え、学生や若手医師が実践力を高める場となります。こうした教育環境の整備に向けてみなさまのご支援をお願いしております。ご寄附は金額にかかわらずありがたく活用させていただき、希望される方のお名前を感謝の意を込めて掲示させていただきます。詳しいご案内をご希望の方は、特設サイトをご覧いただくか、事務局までお気軽にお問い合わせください。ご希望に応じて、寄附のご案内資料（申込書付き）の郵送も承っております。

新教育棟「次世代の医療人が育つ、新たな学びの場」
（建設場所・着工時期は未定）

医学部50周年事務局（総務課 企画調査係）
Email: 50th@med.shimane-u.ac.jp
TEL : 0853-20-2018

50年のあゆみ

1971年4月1日	島根大学医学部設置推進本部設置
1975年10月1日	島根医科大学設置
1979年4月1日	附属病院設置
1979年10月15日	附属病院診療開始
1982年4月1日	大学院医学研究科博士課程設置
1986年3月20日	島根医科大学同窓会発足
1987年3月18日	医の倫理委員会設置
1989年3月2日	MRI-CT装置棟竣工
1989年11月13日	附属病院にて日本初の生体肝移植実施
1993年8月10日	第三研究棟竣工
1995年2月1日	附属病院が特定機能病院として承認
1999年4月1日	医学部看護学科設置
2001年3月30日	国際交流会館竣工
2001年3月31日	看護学科棟竣工
2001年4月1日	地域医学共同研究センター設置
2003年3月17日	附属病院が病院機能評価の認定交付を受ける
2003年4月1日	大学院医学研究科を大学院医学系研究科に改称し看護学専攻（修士課程）を設置
2003年10月1日	島根大学と統合（島根大学医学部設置）
2004年4月1日	国立大学法人化（国立大学法人島根大学医学部設置）
2004年4月1日	医学系研究科医科学専攻（修士課程）を設置
2004年4月1日	看護研究倫理委員会発足
2005年2月1日	看護学科同窓会（さくら会）設立
2006年4月1日	医学部医学科地域枠推薦入学開始
2008年3月14日	附属病院がISO14001取得
2008年2月8日	附属病院が都道府県がん診療拠点病院に指定
2008年12月5日	第三共同研究棟竣工
2009年4月1日	医学部医学科緊急医師確保対策枠推薦入学開始
2010年1月20日	附属病院で患者搬送用ヘリポート運用開始
2011年4月1日	医学部医学科前期日程（県内定着枠）開始
2011年4月1日	医学部看護学科推薦入学（地域枠）開始
2011年6月1日	新病棟（C病棟）竣工
2013年7月30日	みらい棟竣工
2016年4月1日	大学院医学系研究科看護学専攻を博士課程に改組
2017年7月24日	高度外傷センター竣工
2019年3月1日	附属病院が難病診療連携拠点病院、アレルギー疾患医療拠点病院に指定
2022年12月15日	放射線治療棟竣工
2024年10月1日	医学教育分野別評価認定
2025年10月1日	創立50周年

第一回入学式

生体肝移植の様子

統合時の写真

医の扉（※）

※「医の扉」は、本学が目指すべき「人を見つめる」「地域と世界を見つめる」「未来につなげる」の3つの理念を示す言葉です。この理念は、献体者への感謝と敬意を込めた献体慰霊碑にも刻まれています。